



高尾森林ふれあい推進センターでは、多くの方に森林や林業に対する理解を深め、森林に親しんでいただくために、高尾山の国有林と施設を活用して、様々なイベントを実施しています。

今回は、令和元年度5月までの活動を紹介します。



委嘱証明書の交付式

【フォレストサポートスタッフ(FSS)委嘱証明書交付式】

当センターが実施する森林教室や森林カレッジ等のイベントをサポートしていただく森林ボランティアスタッフ「フォレストサポートスタッフ(FSS)」の委嘱証明書の交付式を4月13日(土)に当センター1階の展示室において実施しました。

この制度は、森林管理局署等において実施する森林教室や体験林業等について、関東森林管理局長が実施業務に係る協力者としてイベントスタッフを委嘱する制度です。委嘱期間は1年です。

今年度は37名(新委嘱者1名を含む)に委嘱され、出席いただいた25名に当センター所長から委嘱証明書を交付しました。その後は、FSSの制度、活動の実績と計画の説明、安全講習等を行いました。FSSの皆様には、当センターが開催する森林教室等に毎回ご協力をいただき、当センターにとっては欠かせない存在となっております。今年度もFSSの皆様の協力をいただきながら、より良い森林環境教育の実施に取り組んで参

りたいと考えています。

【森林教室】

教育機関等からの依頼により実施している森林教室は、出前を含めて2ヶ月で4回実施しました。4月19日に中央区立佃島小学校5年生100名、5月8日に出前で八王子市立みなみ野小学校3年生95名、5月21日にみなみ野君田小学校5年生103名、5月22日に

出前で三鷹市西野保育園5歳児25名が参加し、森林の働きや林業について説明を受け、丸太切りや森林観察等を体験しました。



森林教室の様子

【森林カレッジ】

今年度第1回目の森林カレッジを5月18日に27名の方が参加して実施しました。講師には、一般社団法人森林・自然環境技術者教育会会長の桜井尚武先生お招きして、森林の多面的機能や森林の植生や森を守るにはどうすれば良いのかといった、幅広く丁寧に講義をしていただきました。

午後からは、高尾山に登りながら樹木の特徴や人工林の育て方などについて解説していただきました。なお、森林カレッジは、毎年5・7・10・1月に開催する予定です。



講義の様子(森林カレッジ)

【協定イベント】

関東森林管理局長と森林ボランティア団体が森林ふれあい推進事業による協定を締結し、様々なイベントを実施しています。

今年度は、森林インストラクター東京会、森とでんえん倶楽部、森と人のネットワーク、高尾パークボランティア会の4団体と協定を締結しました。それぞれの団体が創意工夫したイベントを年間35回・1、300人の募集定員により実施する予定です。



高尾山での実習（森林カレッジ）



ニホンカモシカ(日本羚羊)
約110cm。右前にシカとつかうシの仲間。
好奇心が強く、人と出会っても逃げずにじっと見つめる。



協定イベント：自然観察会（沢に住む生き物探し）

きのこ特集

【美しさに秘められた猛毒】

シロタマゴテングタケ（猛毒）
（テングタケ科 テングタケ属）
8月上旬から10月中旬ブナ科及びマツ科の樹下に単生から散生します。

カサは、3cmから10cm位で白色、湿っている時は多少の粘性がありますが溝線はなく、ヒダは白色で離生します。

柄は、7cmから10cm位で白色でササクレはなく平滑です。下部には白色のツボ（外被膜）があり、上部には白色膜質のツバ（内皮膜）があります。

毒成分は、アマニチン、ファロイジンなどで、食べると数時間後に発熱や腹痛がおこり、やがて各臓器や血液を破壊し死に至ります。



今月の表紙

「松川浦海岸防災林復旧工事」
（福島県相馬市）

平成23年3月11日の東日本大震災により発生した津波は、松川浦の浸食を防いでいた護岸工を破壊し、多くの立木が流失しました。

磐城森林管理署では、失われた松林の再生に向け、風害・潮害防備や生活環境の保全や、津波の被害軽減効果を考慮し、被災した護岸工の復旧、海岸防災林造成（盛土工・植栽工）に取り組んでいます。

また、ボランティア活動により、植栽から保育までの一定期間の森林整備を行う民間団体等を募集し、現在14団体と協定を結び、海岸防災林の再生に取り組んでいます。

